学報

2019 年 9 月　Vol.745

男子ハンドボール部が全日本インカレ出場権を獲得

2019 年度岐阜大学日本語・日本文化教育センター日本語・日本文化研修留学生の修了論文発表会を開催 …… ０１
本学医学教育開発研究センター（ＭＥＤＣ）が第７３回医学教育セミナーとワークショップを開催 …… ０３
オープンキャンパス２０１９を開催 …… ０４
男子ハンドボール部が全日本インカレ出場権を獲得 …… ０５
起業家応援セミナーを開催 …… ０６
夏季休暇中の学童保育トライアル（カモミールこども大学）を実施 …… ０８
COC+事業外部評価専門委員会を開催 …… ０９
岐阜大学・ＦＣ岐阜　環境連携事業　環境ミニ講座＆工作教室
『「飛び出せ！サッカーボール：浮沈子（ふちんし）」・「くるくるかざぐるま」』を開催 …… １０
留学生×美濃味匠 合同ワークショップを開催 …… １１
表彰受賞者 …… １２
外国人研究者の受け入れ …… １３
産官学連携の実施状況 …… １４
メディア掲載一覧 …… １５
諸会議 …… １９
主要日誌 …… ２０
人事異動（学内限定） …… ２１

発行　岐阜大学総合企画部総務課
岐阜市柳戸１番１
電話 058-230-1111（代表）

GIFU UNIVERSITY
国立大学法人 岐阜大学

2019 年度岐阜大学日本語・日本文化教育センター日本語・日本文化研修留学生の修了論文発表会を開催

本学日本語・日本文化教育センターは、8 月 4 日（日）、岐阜大学サテライトキャンパスにおいて，日本語・日本文化研修留学生（以下日研生）による修了論文発表会を開催した。

日研生は、毎年 10 月から翌年 8 月までの約 1 年間、大使館推薦や大学推薦の国費外国人留学生として、また本学学術交流協定校からの留学生として岐阜大学に留学し、主に日本語と日本文化について学び、その集大成として修了論文を執筆する。論文のトピックはそれぞれの留学生が興味のあるものを選び、教員の指導と岐大の日本人学生が務める論文チューターのサポートを受けながら論文を完成させる。

今年の日研生は第 18 期生で、ウクライナ、タイ、中国から本学に留学している 6 人が発表を行った。

当日は、本学教職員、学生の他、一般市民の方もご来場くださった。日研生たちは、現代日本社会、日本語の特徴、日本と自国の比較等、各自が設定したテーマについて、パワーポイントを使用しながら発表した。フロアからの質問にも誠実に答え，日頃の学習や研究の成果を十分発揮した。

日研生は，8 月 21 日（水）に行われる修了式に出席し、その後帰国する。帰国後は、それぞれが所属する大学に復学し勉学に励む。本修了生には、本学や他大学大学院への留学や、日本での就職のため再来日する学生が多数いる。成長した彼らとの再会を楽しみにしている。

発表者及び題目は次のとおり（発表順）

○江　愷悌（コウ ガイテイ・中国）
「私たちはまだ「腐向け」を知らない　－『名探偵コナン』劇場版の二次創作を例としてー」
○トンピチャイ・パーキン（タイ）
「社名のネーミング　－人名および欧米企業のネーミングとの比較からー」
○ドルディネツ・イェヴヘン（ウクライナ）
「翻訳における日本語オノマトペ　－『ハリー・ポッターと賢者の石』の英語原作・中国語訳・ウクライナ語訳との比較ー」
○黎　宇傑（レイ ウケツ・中国）
「明末・清初期のキリスト教受容に関する考察　－明朝とイタリア人宣教師マテオ・リ

ッチ、そして同時期の日本との比較ー」

○梁　雅麗（リョウ ガレイ・中国）

「ブラックバイトから立ち上がれ　ー岐阜大学の留学生に対する調査ー」

○サオカムケット・スパーワディー（タイ）

「同棲は結婚に繋がるか ータイ・日における大学生の意識ー」

「腐向け」についての発表

キリスト教受容についての発表

「同棲と結婚」についての発表

発表会終了後の集合写真

本学医学教育開発研究センター（ＭＥＤＣ）が
第７３回医学教育セミナーとワークショップを開催

本学医学教育開発研究センター（ＭＥＤＣ）は、８月９日（金）から１０日（土）の２日間にわたり、愛知学院大学歯学部と共催で、第７３回医学教育セミナーとワークショップｉｎ愛知学院大学を開催し、全国各地から総勢２９４名の参加者・講師が集い、公募も含め計９つのワークショップとセミナーを実施した。

ワークショップでは、医療者教育、臨床実習指導、多職種連携、模擬患者、プロフェッショナリズム教育、医学・歯学教育、健康の社会的決定要因、質的研究など、多彩なテーマについて活発な論議がなされた。中でも「これでいいの？歯科との多職種連携」のワークショップは、歯科領域の教員、専門職等および学生２１名が参加した。まずは歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の養成課程についての説明、グループワークによる多職種連携教育（ＩＰＥ）の問題抽出、専門職連携コンピテンシーや多職種連携医療（ＩＰＷ）の実践に関するレクチャー、ＩＰＷの問題抽出を行い、最後に歯科領域のＩＰＥで利用できるシナリオを作成した。このワークショップでは様々な視点からの討論が行われ、患者を中心とした多職種連携の視点が必要なこと及び歯科領域からのアピールがもっと必要であると再認識する機会となった。

また、セミナーでは、座長を本学藤崎医学教育開発研究センター長が務め、「学力低下時代の学習支援」と題し、福岡歯科大学の内田竜司先生及び北海道科学大学の野呂瀬崇彦先生を迎え、『福岡歯科大学における学習者支援の取り組み』『北海道科学大学薬学部における学習支援の試み～初年次教育およびピアサポートを中心として～』のテーマで歯学部と薬学部における双方の取り組みについてご講演いただいた。今後の学習者支援の取り組みのためにどのような方略が必要かなど活発な質疑応答がなされ、参加者にとって有意義な機会となった。

医学教育開発研究センターでは、医学教育共同利用拠点として我が国の医療者教育の普及・開発・向上に寄与すべく、年４回「医学教育セミナーとワークショップ」を開催している。

次回第７４回は１０月１２日（金）～１３日（土）の２日間、国際医療福祉大学にて開催する。

挨拶される共催校の前田初彦先生

ワークショップ３での様子

オープンキャンパス２０１９を開催

８月１０日（土），１１日（日），１９日（月），２０日（火）に，オープンキャンパスを開催した。

４日間を通して８５５２人（速報値）の参加があり，盛況の内に終了した。

各学部では，学科（課程）の紹介，模擬授業，体験実習，施設見学や入試説明などを実施し，各学部の特色を紹介した。

また，学生スタッフによる，キャンパス案内企画や展示企画の開催，岐阜大学の在学生との質疑応答・意見交換が行われ，岐阜大学の魅力が伝えられた。

オープンキャンパスに来た参加者は大学の最先端の研究やキャンパスライフに触れ，目を輝かせていた。

多数のご来場ありがとうございました。

医学科の様子

看護学科の様子

地域科学部の様子

教育学部（音楽教育講座）の様子

応用生物科学部（共同獣医学科）の様子

工学部の様子（インフラミュージアム）

男子ハンドボール部が全日本インカレ出場権を獲得

８月１４日（水）～１６日（金）にスカイホール豊田（愛知県）で男子 58 回西日本学生ハンドボール選手権大会が行われ，岐阜大学男子ハンドボール部は，「インカレ出場決定戦」Ｃブロックで、３戦全勝の１位となり，高松宮記念杯男子 62 回全日本学生選手権（以下、全日本インカレという）への出場権を獲得した。現時点で出場権を獲得した２４チームのうち，国公立大学は岐阜大学を含め２チームのみである。

岐阜大学男子ハンドボール部の全日本インカレ出場は５年ぶり１４回目の出場となる。

８月２６日（月）には，今回の結果について，男子ハンドボール部メンバー及び指導教員による森脇学長への報告会が行われた。

男子ハンドボール部メンバーは，「強豪である対戦相手チームを徹底的に研究し，研究に基づいた作戦とチーム戦術を臆することなくパフォーマンスとして発揮することができた。」と報告し，森脇学長は，「団体でインカレに出場することはとても素晴らしい。思い切ってインカレに望み，初戦突破することを楽しみにしています。」と称えた。

全日本インカレは１１月８日（金）～１２日（火）に宮城県仙台市で試合が行われる。日本各地から総勢３２チームが集まり，全日本大学ハンドボールチームの頂点をかけて戦う。

学長報告の様子

記念写真

起業家応援セミナーを開催

８月１８日（日）、「じゅうろくてつめいギャラリー」にて、本学研究推進・社会連携機構 産官学連携推進本部主催「岐阜大学　起業家応援セミナー」を開催した。

本セミナーは、「新しいことに挑戦したい人へ、その一歩を踏み出し、前進する力の源の育み方」をテーマとして、いま注目の起業家３名を講師に迎え、起業のきっかけ、起業に至る道のり、起業後のやりがいや楽しさ、それぞれのフィールドで夢の実現に向け挑戦するために必要なマインドや姿勢について、熱く語っていただいた。

１人目の講師、荻野みどりさんは、日本におけるココナッツオイルブームを牽引した㈱ブラウンシュガーファーストを創業され、2011 年の原資 20 万円での起業から売上 7 億円に導くなど、アクティブな起業家スピリットを活かしながら、精力的に事業活動に取り組んでいらっしゃる。講演では、「わが子に食べさせたいかどうか？」を基準に食材を厳選して、商品の背景にある生産者との繋がりや紡いできた文化こそが「オーガニック」と位置づけ、つくる人・届ける人・買う人・食べる人等、全ての関係者が幸福になれることを目指した取組みについてお話しいただいた。また、「人生で初めての食事を、もっと心豊かに。」をコンセプトに、悩み多き母乳の謎をより明るく、楽しくそしてアカデミックに解決する新会社㈱Bonyu. lab の立上げの背景や活動状況等についてご紹介いただいた。

２人目の講師、矢上清乃さんは、学び舎 mom㈱を創業、日本財団のママインターン事業、経済産業省の女性起業家等支援ネットワーク構築事業の受託を経て、女性のライフステージに合わせた活躍推進事業を展開されている。講演では、「女性が自分らしさを軸に能力を生かし挑戦できる社会をつくる」をテーマに、起業家として成長を目指すのか、副業的に収入を確保するのか、多様な生き方を選択する女性起業家のご相談に対応されている支援者の皆さんに、今後の支援のあり方について、ご提言をいただいた。

３人目の講師、柘植千佳さんは、名古屋大学農学部在学中に農家をはじめとした食の作り手さんの現場を回ったことから起業を決意、「モノ(商品)を見ただけではわからないコト(物語)を伝えたい」という想いのもと、地域の食の作り手のブランディングを行っている Lawin㈱を創業、食の作り手の想いやこだわりを情報発信として手がけるとともに、規格外野菜を使ったオリジナル商品の開発や、作り手と食べ手が直接交流する食イベントなども開催している。講演では、「現場との距離をちょっとでも身近に感じてもらえるよう、リアルにありのままに」をテーマに普段なかなか見ることのできない食の現場の状況や感じたことなどを分かりやすくお話しいただいた。

３名の講師による講演終了後、名古屋工業大学の野原かほりさんの進行により、登壇者３名と座談会を開催し、講演では聞くことのできなかった起業家の失敗談や悩み等、本音をうかがうことができた。

また、本セミナーにおいて、産官学連携推進本部 連携推進部門長 上原雅行准教授（岐阜大学 Tongali プロジェクト担当）より、東海 5 国立大学で協働運営している『Tongali プロジェクト』の概要説明を行い、本プロジェクトが生まれた背景や教育プログラムの特徴，社会貢献の意義等について，理解を深めていただいた。

本学では、産官学連携推進本部を中心に、外部機関（金融機関・企業等）と連携した起業家育成教育および岐阜大学発ベンチャー創出支援等，「学生や研究者に起業へ目を向けさせる活動」を実施している。本学発の起業家（ロールモデル）による後輩への指導・育成等，本学独自の起業家創出エコシステムを構築し，地域社会の活性化および新産業創出

に貢献する。

セミナーの様子

㈱ブラウンシュガーファースト
代表　荻野みどりさん

Lawin㈱
代表　柘植千佳さん

座談会の様子

夏季休暇中の学童保育トライアル（カモミールこども大学）を実施

本学では、８月１９日（月）、２０日（火）の２日間、夏季休暇中の学童保育トライアル（カモミールこども大学）を実施した。

本事業は文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境イニシアティブ事業（連携型）」の一環として、本学男女共同参画推進室および連携機関（岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社）が、所属する女性研究者の研究力向上を目的として例年実施しており、定員（25 名）を大幅に超える応募が寄せられる人気行事である。

各機関が独自のプログラム（薬草園の見学・実験、おもちゃ作り・遊び、農作物の収穫・動物見学、はちみつ講座・採集体験ほか）を提供し、大好評であった。

農場にて梨を収穫する参加児童

林正子副学長（多様性人材活力推進担当）（中央）と参加児童一同

COC+事業外部評価専門委員会を開催

8 月 23 日（金），岐阜大学地域協学センターCOC+事業外部評価専門委員会を開催した。

本委員会は，本学が主幹校として採択された地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）「岐阜でステップ×岐阜にプラス　地域志向産業リーダーの協働育成」の進捗状況等を客観的に評価するために設置されたもので，学外の有識者により構成されている。

当日は，委員として一般財団法人農政調査委員会理事長の吉田俊幸氏，岐阜県インターンシップ推進協議会会長・岐阜プラスチック工業株式会社代表取締役会長の大松利幸氏，株式会社秋田屋本店代表取締役社長の中村源次郎氏，株式会社技研サービス常勤監査役・統括顧問の猿渡要司氏，株式会社岐阜放送営業編成局副局長の高井博文氏の 5 名にご出席いただいた。

本委員会では，平成 30 年度実績に係る評価が行われ，各委員からは今後の事業の推進や事業協働機関との連携について貴重なご意見をいただいた。

今後，本委員会で決定された外部評価をもとに，ぎふ COC+事業推進コンソーシアム運営会議において，平成 30 年度実績に係る評価の結果を確定する予定である。

委員会の様子

岐阜大学・ＦＣ岐阜　環境連携事業　環境ミニ講座＆工作教室
『「飛び出せ！サッカーボール：浮沈子（ふちんし）」・「くるくるかざぐるま」』を開催

本学は，８月２５日（日）「岐阜大学と岐阜フットボールクラブとの環境保全における連携に関する覚書」に基づき，ＦＣ岐阜ホームゲームの開催に合わせ，環境ミニ講座＆工作教室「飛び出せ！サッカーボール：浮沈子（ふちんし）」・「くるくるかざぐるま」を岐阜メモリアルセンター長良川競技場で開催した。

今年度初開催となるこのイベントには小学生ら６８名が参加し，環境への意識を高めることを目的に，地球規模で問題となっているプラスチックごみについて工作を通じて学んだ。

櫻田修工学部教授による「ごみから環境を考えてみよう」と題した環境ミニ講座では，家庭で出るごみの量，ごみを燃やした時に発生する二酸化炭素の量やそれらの処理などについて考えた。

その後，学生を含めた大学スタッフに教わりながら，飲み終わったペットボトルを使い，浮沈子，くるくるよく回るかざぐるまを作成した。子どもたちはできあがった作品に満足した様子で，環境について考えるよい機会となった。

今後も岐阜大学はＦＣ岐阜と連携し，環境問題について取り組んでいく。

櫻田教授による「環境ミニ講座」

会場の様子

浮沈子作成の様子

かざぐるまで遊ぶ子どもたち

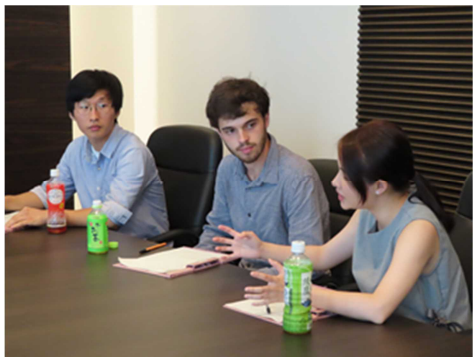
留学生×美濃味匠 合同ワークショップを開催

８月２８日（水）、グローカル推進機構は、留学生就職促進プログラムの就活準備講座（基礎）実践版として、株式会社デリカスイトとの共催により、美濃味匠ＪＲ名古屋駅店の課題解決を目的とした合同ワークショップを開催した。

合同ワークショップでは、株式会社デリカスイトが運営する美濃味匠ＪＲ名古屋駅店に対する外国人旅行客の来店支援について検討した。当日は本学の留学生３名・職員１名、株式会社デリカスイト社員２名、ファシリテーターとして株式会社 Keisei１名の計７名が参加した。

最初に、株式会社デリカスイトから会社概要、合同ワークショップの主旨について説明があり、美濃味匠ＪＲ名古屋駅店へ移動した後、概観や雰囲気、店員の動き等を留学生が消費者の立場で視察した。その後、各自で選んだ美濃味匠のお弁当を食べながら、ざっくばらんに気づいたことや改善点について、意見交換を行った。

合同ワークショップ後の留学生向けのアンケートには、「実際の店の働き方について、話したのが私にとって役に立ちました。」、「目的を持って店を調べることは初めてだったのでいい経験になりました。」などの感想があり、国内での就職に興味のある留学生にとって、実際に営業している店舗の課題を言語化し共有することは、大変有意義な経験となった。また、株式会社デリカスイトからは、「当社にとって『目からうろこ』と総括するに値する素晴らしい内容になった。ＪＲ名古屋駅店はもちろん、他店舗の外国人旅行客対応を考えるうえでの参考、ではなく「考慮するべき要件」とさせていただきます。」との発言があった。本学、企業、留学生ともに次の展開への期待が高まる合同ワークショップとなった。



ディスカッションの様子

表彰受賞者

日本教育医学会学会賞　受賞

受　賞　者：小木曽　加奈子　医学部看護学科准教授
論　文　名：介護老人保健施設の看護職の職務の継続と認知症ケアの検討；介護老人保健施設の看護職版職務満足度評価尺度とＢＰＳＤサポート尺度を用いて
受　賞　日：令和元年８月２１日

第２２回公益信託エスペック地球環境研究・技術基金
エスペック地球環境研究奨励賞　受賞

受　賞　者：楠田　哲士　応用生物科学部准教授
業　績　名：エスペック地球環境研究奨励賞　受賞
受　賞　日：令和元年８月２３日

外国人研究者の受け入れ（8月）

受入部局	氏名 （国名）	所属・職名	期間	研究題目
工学部	Muhammad Amin （インドネシア）	カイルン大学 講師	2019/8/8～ 2019/8/30	イオンクロマトグラフィーの最適化および環境分析への応用 Optimization and Application of Ion Chromatography in Environmental Analysis
応用生物科学部	Mohamed Mohamed Wageid Kamara (エジプト)	カフル・エル・シェイク大学 准教授	2019/8/1～ 2020/7/31	トウモロコシの塩耐性機構 Molecular biology and genetics of salt tolerance of maize
応用生物科学部	Raghda Mohamed Abdellatif Sakran (エジプト)	Rice Research and Training Center 研究員	2019/8/1～ 2020/7/31	トウモロコシの乾燥耐性機構 Molecular biology and genetics of drought tolerance of maize

産官学連携の実施状況

○共同研究

（令和元年８月契約分）

部局名	研究代表者	企業等名
工学部	山田　宏尚	富士電機(株)
工学部	河瀬　順洋	(株)サムスン日本研究所
工学部	小林　孝一	西松建設(株)
工学部	吉田　道之	東ソー(株)
工学部	新川　真人	岐阜県産業技術総合センター
工学部	隈部　和弘	フルハシ EPO(株)
連合農学研究科	中野　浩平	AIREX(株)
工学部	大矢　豊	(株)オンダ製作所
工学部	竹森　洋	(株)LS ふぁーむ
工学部	神原　信志	澤藤電機(株)
応用生物科学部	神志那　弘明	東レ（株）
応用生物科学部	勝野　那嘉子	岐阜県中山間農業研究所・(有)飛騨山椒
応用生物科学部	長岡　利	岐阜県森林研究所
応用生物科学部	北口　公司	岐阜県森林研究所
連合農学研究科	中野　浩平	岐阜県農業技術センター
応用生物科学部	西津　貴久	旭化成(株)
工学部	高井　千加	(株)栗本鐵工所
工学部	久武　信太郎	ソフトバンク(株)/国立研究開発法人情報通信研究機構
大学院医学系研究科	森重　健一郎	(株)ヘルスケアシステムズ

○受託研究

（令和元年８月契約分）

部局名	研究代表者	企業等名
医学系研究科	永田　知里	国立研究開発法人 国立がん研究センター
地域協学センター	益川　浩一	美濃加茂市
工学部	八嶋　厚	岐阜県
科学研究基盤センター	高島　茂雄	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)
医学部附属病院	小関　道夫	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構

メディア掲載一覧

○新聞　（令和元年８月分）

掲載日	新聞名	内容
8月1日	読売	岐阜で来年「エンジン01」　実行委設立総会　文化人らと知の交流～森脇久隆　学長～
8月1日	中日	文化人集い市民と交流　来年５月催し　実行委が設立総会　～森脇久隆　学長～
8月1日	毎日	オープンカレッジ「エンジン01」　来年開催へ実行委設立　～森脇久隆　学長～
8月1日	岐阜	著名文化人の講座，来月５月県内初開催　オール岐阜で盛り上げ～森脇久隆　学長～
8月1日	中日	留学生ら能や狂言体験　伝統文化ワークショップ
8月1日	読売	東海国立大学機構長　初代の選考基準公表　名大，岐阜大運営法人
8月2日	毎日	発酵食品　共同研究　生活習慣病予防　高山の会社と　～連合創薬医療情報研究科　守川耕平　特任准教授～
8月2日	岐阜	日本自然発酵と岐阜大院が講座　発酵食品を共同研究　～連合創薬医療情報研究科　守川耕平　特任准教授～
8月2日	中日	岐阜市の課題に解決策　岐阜大生「空き家対策」など３班提案　～工学部社会基盤工学科の講義「環境デザイン」～
8月2日	岐阜	来月２月25日に岐阜大前期入試　来春の入試要項公表
8月2日	中日	益川岐阜大教授が地域との連携語る　各務原で教育発表会　～地域協学センター　益川浩一　教授～
8月2日	中日	開校準備委が初会合　北方学園構想　委員長に石川教授　～教職大学院　石川英志　教授～
8月2日	朝日	「エンジン01」開催へ盛り上げ　日比野さん・茂木さん　記念講演
8月2日	岐阜	夏休みに Let's Study　英会話カフェに自習室　～応用生物科学部４年　丹羽　諒さん～
8月3日	中日	学生落語聖地　灯消さない　「てんしき杯」中止で岐阜大生ら企画
8月3日	中日	いじめ疑い　岐阜市全事案　校長直接聞き取り　中３転落死で再発防止策　～地域科学部　近藤真庸　教授～
8月3日	毎日	岐阜中３転落死１か月　市教委方針に戸惑い　校長直接対応「いじめ潜在化も」　～地域科学部　近藤真庸　教授～
8月3日	日本経済	大学法人統合に中経連会長期待　岐阜県と懇談会
8月3日	岐阜	５日から県内などで日米学生会議　鵜飼観覧，文化学ぶ
8月4日	中日	入試に英語民間試験　問題は？　会場限定　公平さ揺らぐ　公教育

		の予備校化　危惧　～元教育学部教授　寺島隆吉さん～
8月5日	中日	留学生が見た日本文化　岐阜大修了論文６人が発表　～日本語・日本文化研修留学生（日研生）６人～
8月7日	中部経済	"水都"の魅力伝えます　大垣親善大使　３人が抱負　～教育学部１年　河合七菜さん～
8月8日	中部経済	◎中経論壇：求められる発想の転換　選挙から考える今後の生活　～教育学部　大藪千穂　教授～
8月9日	毎日	岐阜・中３転落死　生徒100人「いじめ見聞き」　第三者委　詳細聴取へ　～橋本治　元教授，地域科学部　近藤真庸　教授～
8月10日	岐阜	お金の大切さ実感　大垣西濃信金で親子金融教室　～教育学部　大藪千穂　教授～
8月10日	岐阜	幼虫に触れ，命学ぶ　昆虫展でワークショップ　～教育学部附属小学校２年　中川琥博さん～
8月10日	中日	性接待　一度死んだ私　女性，遺族ら　記憶向き合う　～近現代史の研修に訪れた学生12人～
8月14日	岐阜	「フェアトレード」学ぼう　17日，岐阜市でイベント　小学４－６年対象　岐阜大生企画　～「ぎふ学生ボランティア・地域活動ネットワーク」，教育推進・学生支援機構　白村直也　特任助教～
8月15日	朝日	野生動物　素早く判別　岐阜大　画像分析ツール　～応用生物科学部　安藤正規　准教授，人工知能研究推進センター長・工学部　加藤邦人　准教授～
8月15日	岐阜	岐阜市芸術文化奨励賞２氏　陶芸と洋画，独創性追求　～教育学部卒　酒井紫羊さん，傍島幹司さん～
8月17日	中日	岐阜大で中学生　DNA 鑑定　生命科学　原理学んだ　～科学研究基盤センター　須賀晴久　准教授～
8月17日	岐阜	中学生，DNA 鑑定体験　米の品種を見分ける　～科学研究基盤センター（ゲノム研究分野）～
8月17日	岐阜	◎サタデーコラム：予防医学からみた生活習慣病　～医学部　大森正英　講師～
8月20日	岐阜	長良川薪能　音で演出　30日本番へ太鼓の稽古始まる　小中学生が基礎学ぶ　～能楽同好会～
8月21日	中日	生徒五十数人　聞き取りへ　岐阜市教委「いじめ目撃」で対策委　～「いじめ問題対策委」委員長　橋本　治　教授～
8月21日	岐阜	伊勢湾台風教訓，後世に　県図書館で防災フォーラム　～清流の国ぎふ防災・減災センター　髙木朗義　教授～
8月21日	読売	日本自然発酵と岐阜大学　共同研究講座を開設　～連合創薬医療情

		報研究科～
8月22日	岐阜	児童，実験装置作りに熱中　岐阜市でキャンプ　科学への関心高める
8月22日	中日	県の課題　解決策を発表　岐阜大　スーパーハイスクール生
8月22日	岐阜	学生が札勘体験　インターンシップ岐阜信金受け入れ
8月23日	岐阜	柳ケ瀬　学生落語一色に　あす，18大学集い「まつり」　～落語研究会部長・３年　阿部優歩さん～
8月23日	中部経済	エムエス製作所　金型表面処理に進出　岐阜大と技術開発　離型向上で生産効率化
8月23日	中日	生命科学　興味持って　岐阜大・遺伝子実験に高校生　～科学研究基盤センター（ゲノム研究分野）　高島茂雄　助教～
8月23日	岐阜	医療現場，子どもら体感　岐阜大医学部が体験会　～女性医師就労支援の会～
8月23日	岐阜	夏休み，宿題猛スパート　岐阜大野球部員ら児童児童　旧徹明小で「寺子屋」　～硬式野球部部員ら34人～
8月24日	岐阜	リケジョが県内企業見学ツアー　職場の雰囲気を体感
8月24日	中日	県図書館で講座最終日　参加24人が成果を発表　「がんと医療」中学生学ぶ
8月25日	岐阜	話芸，光る若い感性　柳ケ瀬落語まつり　18大学の学生熱演　～落語研究会部長・３年　鵜飼家ちゃちゃこと阿部優歩さん～
8月25日	読売	◎病院の実力～岐阜編 136～：婦人科内視鏡治療　負担少なく回復早い　開腹との選択大切に　～医学部附属病院産科婦人科　竹中基記　臨床講師～
8月25日	中日	学生落語家　滑らか話芸　全国から22人　柳ケ瀬商店街沸く　～落語研究会部長・３年　鵜飼家ちゃちゃこと阿部優歩さん～
8月26日	中日	子宮頸がんは早期発見重要　岐阜で講演会　～医学部附属病院産科婦人科　古井辰郎　臨床教授～
8月26日	朝日	◎岐路に立つ街　柳ケ瀬の挑戦：中心街回帰　建設ラッシュ　②コンパクトシティ　～地域科学部　富樫幸一　教授～
8月27日	中部経済	◎研究現場発：バイオの力でタンパク質を自在生産　アレルギー検査の精度向上と治療を目指して　～工学部化学・生命工学科　大野敏　准教授～
8月27日	中日	岐阜大男子ハンド　全日本インカレへ　学長に意気込み　～男子ハンドボール部　主将　森下和樹さん～
8月27日	中日	岐大医学センターの職員の子ら仕事知る　サマースクール　～医学

		部附属地域医療医学センター～
8月27日	岐阜	◎岐阜大ハンド，私立強豪校破り　５年ぶりインカレへ　男子　少数精鋭，堅守で全国切符　～男子ハンドボール部　主将　森下和樹さん～
8月29日	岐阜	成育医療推進法　意義などを理解　岐阜市で講演会　～医学部附属病院産科婦人科　古井辰郎　臨床教授～
8月29日	中日	地域の防災意識　一層向上を　「げんさい楽座」節目の50回　被災地の様子，避難所などテーマ　～工学部　髙木朗義　シニア教授，神谷浩二　教授～
8月31日	岐阜	清流長良川の鮎　関連施設巡ろう　学生団体「岐阜人」がスタンプラリー　～フリーペーパーを発行する学生団体「岐阜人（ぎふと）」代表　伴ひな乃さん～
8月31日	岐阜	つたえたい　～男子ハンドボール部マネージャー・工学部２年　安藤衣香さん～

○テレビ・ラジオ・雑誌等　（令和元年８月分）

放送日	番組名	内容
8月5日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション ２時６時」	『減災ラジオ』 「台風や大雨への備え～気象情報の活用」 工学部 吉野　純　准教授
8月22日	NHK総合 4:30～ 「おはよう日本」	夏山診療所の取組み

諸　会　議

◇第６７４回　役員会
８月６日（火）
（議事）
１．懲戒処分事案について

◇第５回　教学委員会（メール開催）
８月２３日（金）
（審議事項）
１．令和元年度入学料及び前期分授業料免除等について

主要日誌

月　日	行　事　名
8/　4	日本語・日本文化研修留学生修了論文発表会
19	オープンキャンパス
25	岐阜大学公開講座中高生のための美術教室「美術教育講座説明会・デッサンの基礎」
26	げんさい楽座